



第34回会合における構成員等からの主なご意見

2022年4月21日
事務局

ヒアリングについて

- 改めて団体同士の連携が大事で、一丸となってDisinformation対策をしていくことがよく分かった。【木村構成員】
- （LINEの拡散のおそれのある情報をユーザーの目につきにくくする取組に関し、）せっかく取り組んでいるので、効果測定などを工夫してやっていただきたいと思う。【木村構成員】
- （Metaの6つのヒントなど情報に関し、）せっかく取り組んでいるので、情報が利用者の方によりよく届くよう、お願いしたい。【木村構成員】
- ITの技術をこの世界でどのように活用していくのかという点についても、できれば話していただけるとありがたい。例えばコンテンツであれば、内容的真実性と手続的真正性という分類があるのではないか。内容的真実性については、まさに今皆さんがファクトチェックなどでやっているということはよく分かる。手続的真正性となると、つまり、どういう人がコンテンツ、またはデータのトラストをどのように考えた上で、それらを利用していくという環境を提供していくのか。非常に匿名性の高いサービスというのを売りにするというのもあれば、非常に厳格なサービスにするということで、そこでトラストは大分違ってくると思う。そのようなことも今後の考え方にと考えた。【手塚構成員】